令和５年度（２０２３年度）第２回東海市まちづくり評価委員会

次　　第

日　時：令和５年（２０２３年）６月２８日（水）
午後３時から
場　所：市役所３０２会議室（３階）

１　開　会

２　議　題

令和４年度（２０２２年度）のまちづくりに関する評価（施策評価）について

⑴　環境・市民生活（７施策）

⑵　産業・勤労（４施策）

３　今後の予定

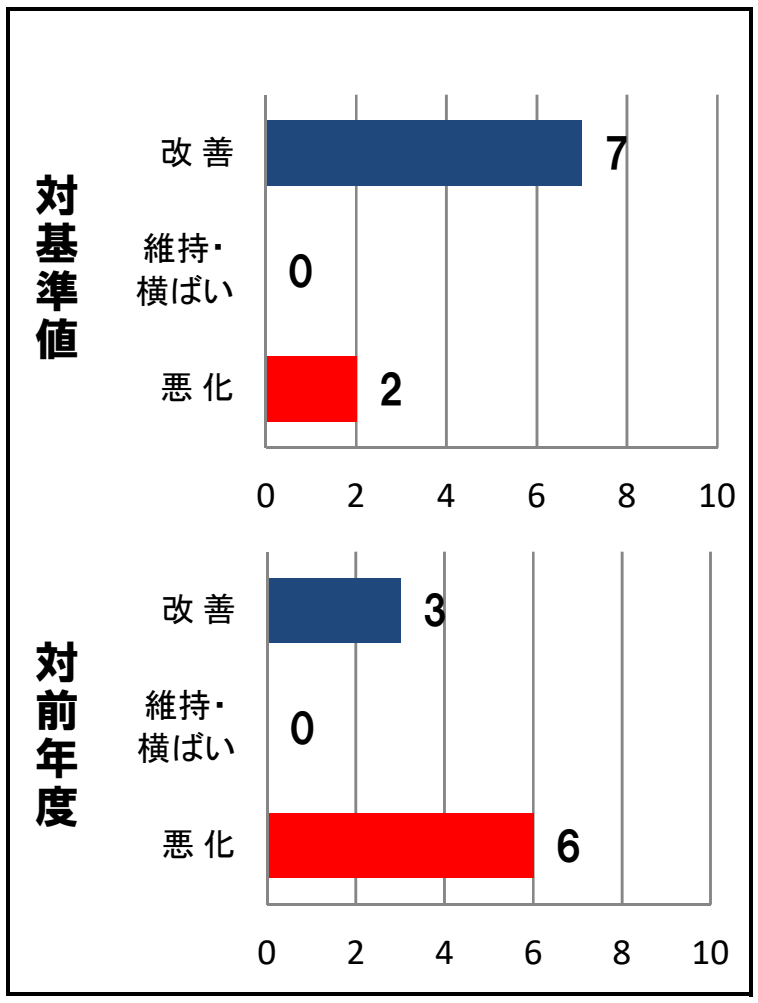
分野別成果動向一覧 第3章「環境・市民生活」

≪施策別成果動向一覧≫

節	番号	施策名	成果動向	まちづくり指標の推移						成果指標の推移							
				対基準値			対前年度			対基準値				対前年度			
				改善	維持・横ばい	悪化	改善	維持・横ばい	悪化	改善	維持・横ばい	悪化	比較不可	改善	維持・横ばい	悪化	比較不可
環境保全	18	空気がきれいで住みやすい環境を保全する	横ばい	1	0	1	1	0	1	4	3	2	0	6	2	1	0
	19	生活排水を適切に処理する	横ばい	1	0	0	0	0	1	4	0	0	0	3	0	1	0
ごみ処理	20	まちの環境美化を推進する	横ばい	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0
	21	ごみの減量化とリサイクルを推進する	順調	1	0	1	1	0	1	4	0	1	0	4	0	1	0
防災	22	市民と市が一体となって災害に備える	横ばい	1	0	0	0	0	1	6	0	0	0	1	0	5	0
交通安全・防犯	23	交通事故や犯罪のない安全で安心なまちをつくる	順調	1	0	0	0	0	1	4	0	0	0	2	0	2	0
消防・救急	24	消防・救急体制を充実させる	横ばい	1	0	0	0	0	1	3	0	1	0	4	0	0	0

≪まちづくり評価委員会の評価≫

≪まちづくり指標の状況≫



［10年後めざそう値を達成した指標］

0028	降下ばいじんの量
0029	市内の川の水がきれいであると感じている人の割合
0032	市民一人当たりのごみの総量
0034	交通事故や犯罪の不安がなく、安全に安心して生活できていると思う人の割合

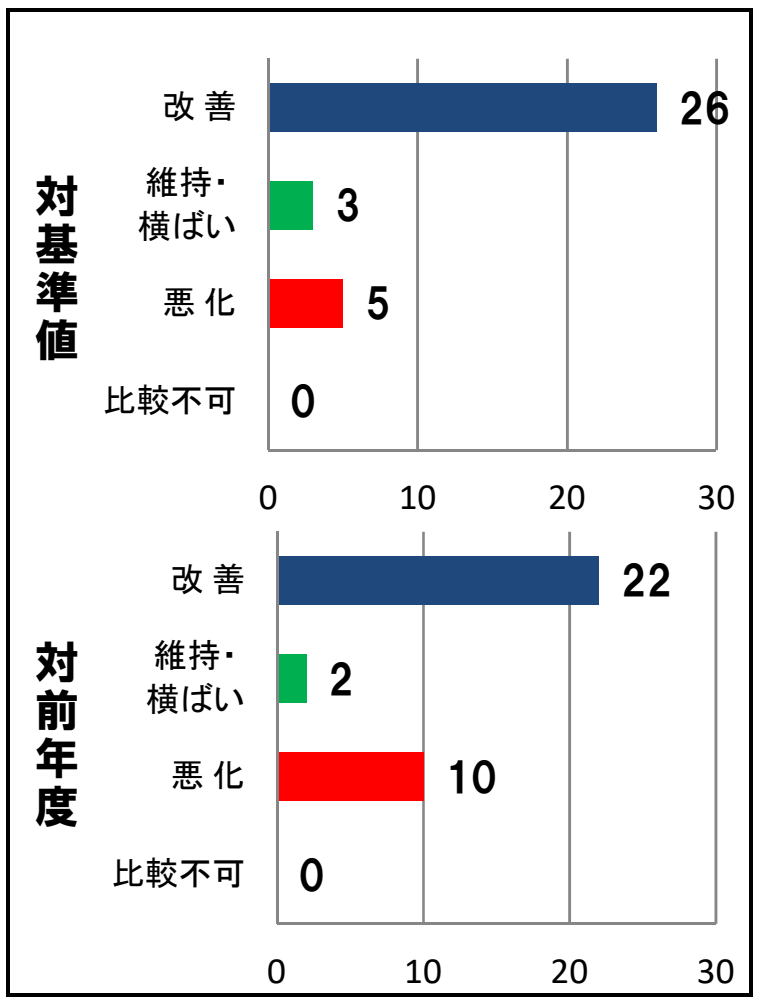
［基準値と比較して改善した主な指標］

0030	地域内にごみのポイ捨てが目立つと感じている人の割合
0033	地域、市などが連携し、災害時に備えていると思う人の割合

［基準値と比較して悪化した指標］

0027	大気汚染などにより、日常生活に支障があると感じている人の割合

≪成果指標の状況≫



［基準値と比較して改善した主な指標］

1831	太陽光発電システムの累計設置件数
2232	防災協定締結数
2321	市内における犯罪発生件数
2411	高齢者の防火指導件数

［基準値と比較して悪化した主な指標］

1812	降下ばいじんにより、生活に支障があると感じている人の割合
2011	地域の清掃活動に参加した人数
2114	市民一人当たりの資源回収量
2421	救急隊出場１件当たりの救急救命士の人数

≪第3章「環境・市民生活」指標の状況≫

【まちづくり指標】「降下ばいじんの量」はじめ4指標が10年後めざそう値（R5(2023)）を達成したほか、「地域内にごみのポイ捨てが目立つと感じている人の割合」など、基準値と比較して7指標、分野全体で77.8%が改善した。

一方、基準値以下となった指標は「大気汚染などにより、日常生活に支障があると感じている人の割合」はじめ2指標（22.2%）となった。

【成果指標】「太陽光発電システムの累計設置件数」はじめ26指標、分野全体で76.5%が基準値より改善した。また、基準値以下となった指標は、5指標（14.7%）で、前年度より悪化した指標は、10指標（29.4%）となった。

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

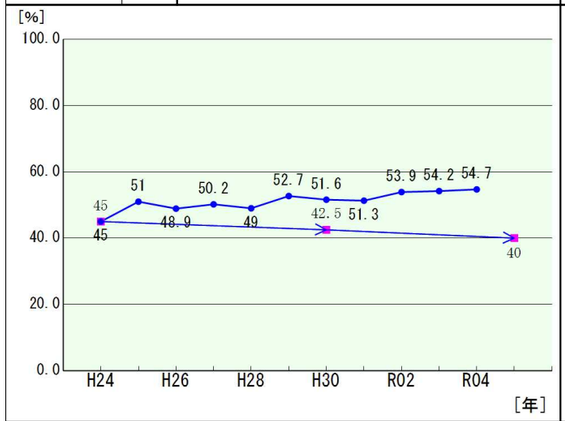
施策 18 空気がきれいで住みやすい環境を保全する

体系

章	環境・市民生活	理念	安心
めざすまちの姿	大気汚染、ばいじん、悪臭がなく、空気がきれいである		
施策主管課	生活環境課		

まちづくり指標

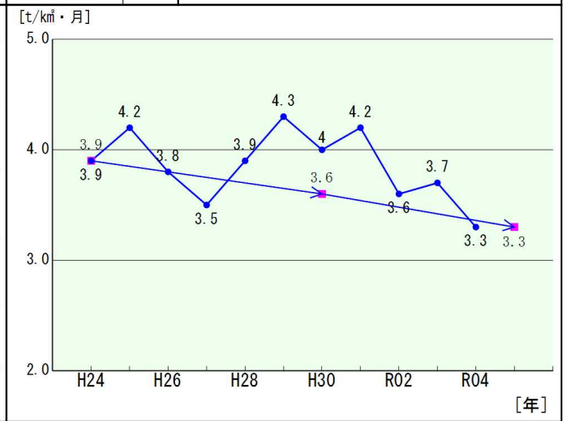
指標	0027	大気汚染などにより、日常生活に支障があると感じている人の割合
方向性	➔	



対基準値:9.7ポイント増／基準値からの推移:×
10年後めざそう値達成率:-194.0%
年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有
要因:大気汚染への関心が高いと考える子育て世代、市南西部地区等の割合が高い。

指標の推移	対基準値 → 悪化	対前年度 → 悪化

指標	0028	降下ばいじんの量
方向性	➔	



対基準値:0.6t/km²減／基準値からの推移:○
10年後めざそう値達成率:100.0%
要因:臨海部企業が実施する降下ばいじん対策に一定の効果が出ているものと考える。例年同様、市内平均と比べ市南西部地区の量が多い。

指標の推移	対基準値 → 改善	対前年度 → 改善

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、横ばいと評価する。
「降下ばいじんの量」は、基準値から0.6t/km²改善し、10年後目指そう値を達成した。臨海部企業の対策により一定の効果が出ているものと考えるが、「大気汚染などにより、日常生活に支障があると感じている人の割合」が基準値から9.7ポイント増加していることから、市民の実感に結びついていないと考える。
今後は、降下ばいじんが市内平均と比べ多い市南西部の数値改善に向けて、引き続き事業所に対し効果的な対策を要望していく。また、市の広報等で事業所の対策状況を市民に伝えるとともに、事業所に環境対策の実施状況、将来計画等の一層の公開を要望する必要がある。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

	単位施策の名称	成果動向			成果指標の名称	対基準値	対前年度
01	きれいな空気を守る	順調でない		1811	大気汚染基準値の達成率	横ばい	横ばい
				1812	降下ばいじんにより、生活に支障があると感じている人の割合	悪化	改善
	事務事業の成果状況	向上	(0)	1813	降下ばいじん以外の大気汚染により、生活に支障があると感じている人の割合	改善	改善
		維持 横ばい	(2)				
		低下	(0)				
02	悪臭・騒音の発生を抑制する	横ばい		1821	悪臭により、生活に支障があると感じている人の割合	横ばい	改善
				1822	騒音により、生活に支障があると感じている人の割合	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上	(0)	1823	環境騒音基準値の適合率	横ばい	悪化
		維持 横ばい	(0)	1824	自動車交通騒音基準値の適合率	改善	横ばい
		低下	(0)				
03	再生可能エネルギーを活用する	横ばい		1831	太陽光発電システムの累計設置件数	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(3)				
		低下	(0)				
04	環境教育を推進する	横ばい		1841	エコスクールの参加者数	悪化	改善
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(2)				
		低下	(0)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	01	きれいな空気を守る

体系

章	環境 ･市民生活	理念	安心
施策	18	空気がきれいで住みやすい環境を保全する	
単位施策主管課	生活環境課		

成果指標

指標番号	1811	大気汚染基準値の達成率				指標番号	1812	降下ばいじんにより、生活に支障があると感じている人の割合			
方向性	↗					方向性	↘				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
%		80	80	80	80	%		27.5	42.0	43.2	42.5
指標の推移		対基準値 → 横ばい　対前年度 → 横ばい				指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 改善			
指標番号	1813	降下ばいじん以外の大気汚染により、生活に支障があると感じている人の割合				指標番号					
方向性	↘					方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
%		9.7	10.0	9.5	9.4						
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善				指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	2	遅延あり	0	
成果状況	向上	0	維持 ･横ばい	2	低下	0	
次年度に向けての課題	あり 重大）	0	あり	0	なし	2	
次年度方向性	維持	1	見直し	0	休廃止	0	完了 1

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調でないと評価する。
「降下ばいじんにより、生活に支障があると感じている人の割合」は基準値から15.0ポイント増加しており、降下ばいじんに関心が高いと考える子育て世代及び市南西部地区の割合が高くなっている。降下ばいじん量が基準値から改善しているにも関わらず、割合が大きく増加している理由として、市民にとって生活上で改善した実感に結びついていないこと及び環境問題への関心の高まりによるものと考える。
今後も、県や事業所と情報共有を図りながら、より効果的な対策の実施を事業所に要望し、市民の実感に結びつくよう降下ばいじんを低減させる取組を進めていく必要がある。

成果動向	○順調　○横ばい　●順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	740	環境モニター設置事業	生活環境課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
2	2510	大気汚染自動測定器更新事業	生活環境課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	完了

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	02	悪臭・騒音の発生を抑制する

体系

章	環境・市民生活	理念	安心
施策	18	空気がきれいで住みやすい環境を保全する	
単位施策主管課	生活環境課		

成果指標

指標番号	1821	悪臭により、生活に支障があると感じている人の割合			
方向性	↘				
単位		基準値	R02	R03	R04
%		8.1	9.5	9.4	8.1
指標の推移		対基準値 → 横ばい　対前年度 → 改善			

指標番号	1822	騒音により、生活に支障があると感じている人の割合			
方向性	↘				
単位		基準値	R02	R03	R04
%		11.6	10.0	11.7	10.7
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善			

指標番号	1823	環境騒音基準値の適合率			
方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04
%		66.7	66.7	75.0	66.7
指標の推移		対基準値 → 横ばい　対前年度 → 悪化			

指標番号	1824	自動車交通騒音基準値の適合率			
方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04
%		80	100	100	100
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 横ばい			

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	0	遅延あり	0	
成果状況	向上	0	維持・横ばい	0	低下	0	
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	0	なし	0	
次年度方向性	維持	0	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
成果指標について、基準値と比較して改善が2指標、横ばいが2指標となっている。「騒音により、生活に支障があると感じている人の割合」は基準値より改善しているが毎年度増減を繰り返しており、多くの工場が立地している緑陽地区など北部の学区において支障があると感じている人の割合が高い。
今後も引き続き、騒音を発生させる工場等への立入調査などの監視を続けるとともに、発生源の特定などの分析を行い、発生源が判明した場合には適切な指導を行っていく。また、数値が悪い地域に重点をおいて、生活マナー向上などの啓発活動を実施していく必要がある。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	03	再生可能エネルギーを活用する

体系

章	環境 ･市民生活	理念	安心
施策	18	空気がきれいで住みやすい環境を保全する	
単位施策主管課	生活環境課		

成果指標

指標番号	1831	太陽光発電システムの累計設置件数				指標番号					
方向性	↗					方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
件		1,742	4,119	4,348	4,566						
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善				指標の推移					
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り		3	遅延あり		0
成果状況	向上	0	維持 ･横ばい		3	低下		0
次年度に向けての課題	あり 重大）	0	あり		3	なし		0
次年度方向性	維持	3	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
成果指標は、基準値から2,824件、前年度から218件増加したものの、前年度からの増加件数は過去5年で最も少なかった。電気料金の値上がりが続き、再生可能エネルギーの導入に対する関心は高まっていると考えられるが、ＦＩＴ制度（固定価格買取制度）による買取価格の低下や、大規模な宅地開発がなかったことにより、増加件数が減少したと考えられる。
今後は、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の公表に向け、市のイベント等において再生可能エネルギーの導入や省エネルギー化に関する啓発を行うことで、市民や事業者の温室効果ガス排出量削減に対する意識の向上に努めていく。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	3307	地球温暖化対策啓発事業	生活環境課	予定通り	維持 ･横ばい	あり	維持
2	751	住宅用地球温暖化対策設備導入促進補助事業	生活環境課	予定通り	維持 ･横ばい	あり	維持
3	3216	地球温暖化対策実行計画 区域施策編）策定事業	生活環境課	予定通り	維持 ･横ばい	あり	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	04	環境教育を推進する

体系

章	環境 ･市民生活	理念	安心
施策	18	空気がきれいで住みやすい環境を保全する	
単位施策主管課	生活環境課		

成果指標

指標番号	1841	エコスクールの参加者数				指標番号					
方向性	↗					方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
人/年		971	600	751	946						
指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 改善				指標の推移					
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	2	遅延あり	0		
成果状況	向上	0	維持 ･横ばい	2	低下	0		
次年度に向けての課題	あり 重大）	0	あり	1	なし	1		
次年度方向性	維持	1	見直し	1	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
成果指標は、基準値から25人減少したが、前年度からは195人増加している。この理由は、新型コロナウイルス感染症の影響により引き続き講座の定員制限を行った一方で、感染防止対策を徹底し、秋まつりにて環境ひろばを実施したことや、温暖化対策として電気自動車の講座などの新規講座を実施したことによるものと考える。
今後は、新型コロナウイルス感染症の影響の低下に伴い、定員制限の見直しを検討するとともに、ＳＤＧｓ、地球温暖化対策など、世界全体で取り組みが進み市も推進する内容の講座をより一層開催し、参加者数の増加及び啓発を進展させる必要がある。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	752	環境基本計画推進事業	生活環境課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
2	753	エコスクール開催補助事業	生活環境課	予定通り	維持 ･横ばい	あり	見直し

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

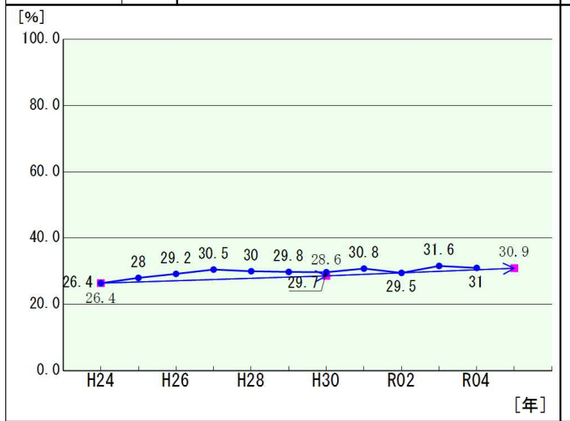
施策 19 生活排水を適切に処理する

体系

章	環境・市民生活	理念	安心
めざすまちの姿	下水道が整備され、生活排水が適切に処理されて、川や海などの水がきれいである		
施策主管課	都市計画課		

まちづくり指標

指標	0029	市内の川の水がきれいであると感じている人の割合	指標	
方向性	↗		方向性	



対基準値:4.6ポイント増／基準値からの推移:○
10年後めざそう値達成率:102.2%
年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有
要因:基準値からの増加理由としては、下水道建設等の環境整備が影響していると考える。

指標の推移	対基準値 → 改善　　対前年度 → 悪化	指標の推移	

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、横ばいと評価する。
まちづくり指標は、前年度から0.6ポイント減少しているものの、基準値からは4.6ポイント向上している。このことから、数値としては横ばい傾向であるが、高い数値で推移している。これは、市内での下水道の整備・普及が進んだことが影響していると考える。
今後も、下水道整備の推進に合わせ、下水道への接続、水洗化への啓発活動や適切な汚水処理対策・水質改善対策に取り組んでいくとともに、定期的な水質調査の実施及び継続的な水質の監視を行っていく。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

	単位施策の名称	成果動向			成果指標の名称	対基準値	対前年度
01	下水道を整備して汚水を処理する	順調		1911	下水道普及率	改善	改善
				1912	下水道接続率	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(3)				
		低下	(0)				
02	水質を監視する	横ばい		1921	土留木川のＢＯＤ濃度	改善	悪化
				1922	大田川のＢＯＤ濃度	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(0)				
		低下	(0)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	01	下水道を整備して汚水を処理する

体系

章	環境 ･市民生活	理念	安心
施策	19	生活排水を適切に処理する	
単位施策主管課	都市計画課		

成果指標

指標番号	1911	下水道普及率				指標番号	1912	下水道接続率			
方向性	↗					方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
%		72.3	86.6	86.6	86.9	%		90.9	92.8	94.3	94.8
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善				指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善			
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	3	遅延あり	0	
成果状況	向上	0	維持 ･横ばい	3	低下	0	
次年度に向けての課題	あり 重大）	0	あり	0	なし	3	
次年度方向性	維持	3	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
「下水道普及率」は、基準値から14.6ポイント向上している。これは、浅山新田地区の幹線への接続、下水道面整備（緑陽地区）等による本管工事等が進んだことが要因と考える。また、「下水道接続率」も、基準値から3.9ポイント向上している。これは、下水道に接続できる区域内において、下水道整備工事にあわせて行った啓発活動により、市民の意識が高まり、下水道への接続が進んだことが要因と考える。
今後も、下水道整備を進めるとともに、下水道接続率向上のため助成事業及びその啓発活動を継続していく。

成果動向	●順調	○横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	791	合併浄化槽設置補助事業	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
2	2794	下水道事業会計補助金	都市計画課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
3	2795	下水道事業会計出資金	都市計画課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	02	水質を監視する

体系

章	環境 ･市民生活	理念	安心
施策	19	生活排水を適切に処理する	
単位施策主管課	生活環境課		

成果指標

指標番号	1921	土留木川のBOD濃度			
方向性	➔				
単位		基準値	R02	R03	R04
mg/ ℓ		16	9.1	6.0	9.9
指標の推移		対基準値 → 改善	対前年度 → 悪化		
指標番号					
方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移					

指標番号	1922	大田川のBOD濃度			
方向性	➔				
単位		基準値	R02	R03	R04
mg/ ℓ		2.6	1.8	1.7	1.0
指標の推移		対基準値 → 改善	対前年度 → 改善		
指標番号					
方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	0	遅延あり	0		
成果状況	向上	0	維持 ･横ばい	0	低下	0		
次年度に向けての課題	あり 重大)	0	あり	0	なし	0		
次年度方向性	維持	0	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
「大田川のＢＯＤ濃度」は、下水道整備がすでに進んでいることから、基準値から改善した水準で継続的に推移している。一方で、「土留木川のＢＯＤ濃度」は基準値より改善しているが、前年度から増加している。
ＢＯＤ濃度は天候や測定時期などの影響を受けることから、土留木川は周辺の下水道整備により一定の水質改善がされていると考えるものの、今後の増減の推移を注視していく必要がある。また、これまでの傾向から下水道整備が水質の向上に寄与していると考えるため、今後も下水道接続率の向上について、下水道供用開始区域の市民への啓発を進めていく必要がある。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

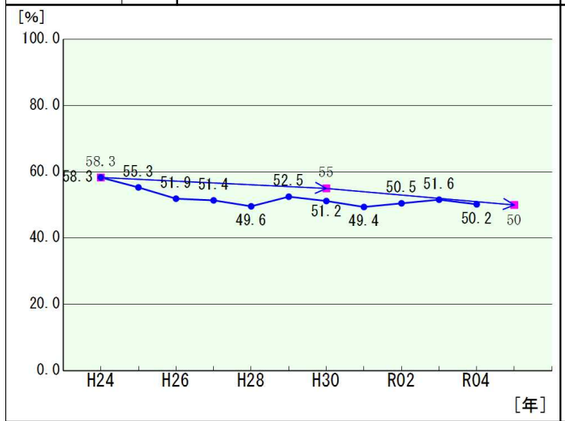
施策	20	まちの環境美化を推進する

体系

章	環境・市民生活	理念	快適
めざすまちの姿	まちにごみが落ちていない		
施策主管課	生活環境課		

まちづくり指標

指標	0030	地域内にごみのポイ捨てが目立つと感じている人の割合	指標	
方向性	➔		方向性	



対基準値:8.1ポイント減／基準値からの推移:○
10年後めざそう値達成率:97.6%
年齢別:差異有、職業別:差異無、地区別:差異有
要因:道路などのごみの回収量が減少していることから、ごみのポイ捨て量が減少していると考える。

指標の推移	対基準値 → 改善　　対前年度 → 改善	指標の推移	

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、横ばいと評価する。
まちづくり指標は、基準値から8.1ポイント改善しているが、平成28年度以降は横ばい傾向になっている。また、単位施策の成果指標では、「道路などのごみの回収量」が大幅に減少している一方で、「地域の清掃活動に参加した人数」が基準値から大幅に減少している。環境意識の高まりに伴い、道路へのポイ捨て等によるごみが市内全体で減少するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により清掃活動の参加者が減少していると考える。
今後は、新型コロナウイルス感染症の影響が薄れるなかで、清掃活動の参加者数を元の水準に戻すために、より一層の地域美化活動の促進及び啓発活動を行っていく必要がある。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

	単位施策の名称	成果動向			成果指標の名称	対基準値	対前年度
01	まちをきれいにする	順調でない		2011	地域の清掃活動に参加した人数	悪化	改善
	事務事業の成果状況	向上	(1)				
		維持 横ばい	(0)				
		低下	(1)				
02	不法投棄を抑制する	順調		2021	道路などのごみの回収量	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(1)				
		低下	(0)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	01	まちをきれいにする

体系

章	環境 ･市民生活	理念	快適
施策	20	まちの環境美化を推進する	
単位施策主管課	生活環境課		

成果指標

指標番号	2011	地域の清掃活動に参加した人数				指標番号					
方向性	↗					方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
人/年		18,453	5,141	3,159	4,781						
指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 改善				指標の推移					
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	2	遅延あり	0		
成果状況	向上	1	維持 ･横ばい	0	低下	1		
次年度に向けての課題	あり 重大）	0	あり	2	なし	0		
次年度方向性	維持	1	見直し	1	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

**　単位施策の成果動向は、順調でないと評価する。**
**　ゴミ散乱防止市民行動月間として、6月と9月に市内の清掃活動の啓発活動を実施したが、地域の清掃活動に参加した人数は、基準値に比べ13,672人下回った。前年度と比べると新型コロナウイルス感染症の影響が薄れ1,622人増加したが、多くの人が集まる清掃活動の実施に慎重になる団体や市民が多く、コロナ禍以前に比べて参加団体数や参加人数が減少していることが原因と考える。**
**　今後は、環境美化活動への市民参加を促すため、より一層の活動団体への働きかけや環境美化に関する啓発活動を実施していく必要がある。**

成果動向	○順調	○横ばい	●順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	735	地域美化推進事業	生活環境課	予定通り	低下	あり	維持
2	852	西知多産業道路環境美化推進事業	花と緑の推進課	予定通り	向上	あり	見直し

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	02	不法投棄を抑制する

体系

章	環境 ･市民生活	理念	快適
施策	20	まちの環境美化を推進する	
単位施策主管課	生活環境課		

成果指標

指標番号	2021	道路などのごみの回収量				指標番号					
方向性	➔					方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
kg/年		24,620	9,970	9,440	6,900						
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善				指標の推移					
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	1	遅延あり	0		
成果状況	向上	0	維持 ･横ばい	1	低下	0		
次年度に向けての課題	あり 重大)	0	あり	0	なし	1		
次年度方向性	維持	1	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
成果指標は、基準値から17,720kg減少し、前年度からも2,540kg減少している。重量がかさむタイヤ、放置自転車等の大型ごみの回収数が減少していることや、清掃パトロールにおける道路ごみの発見頻度が減少していることから、清掃活動への啓発の成果が表れるとともに、市民の環境問題やリサイクルの意識向上により、不法投棄や道路へのごみのポイ捨てが減少したためと考える。
今後も引き続き、ごみの不法投棄や放置自動車及び放置自転車が増加しないよう、市内道路などのパトロールを行うとともに、環境美化意識の向上に関する啓発活動を推進していく。

成果動向	●順調	○横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	737	放置自動車処理事業	生活環境課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

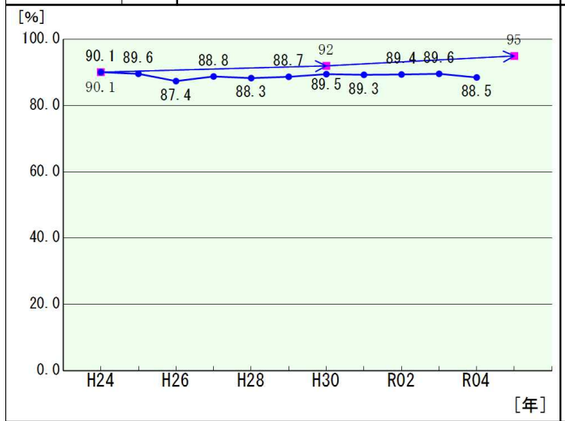
施策 21 ごみの減量化とリサイクルを推進する

体系

章	環境・市民生活	理念	快適
めざすまちの姿	ごみの減量化やリサイクルが進んでいる		
施策主管課	清掃センター		

まちづくり指標

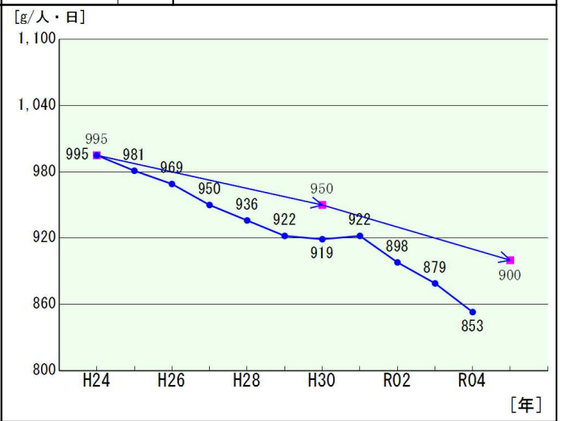
指標	0031	ごみ減量、リサイクルを心がけている人の割合
方向性	→	



対基準値:1.6ポイント減／基準値からの推移:△
10年後めざそう値達成率:-32.7%
年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有
要因:年齢別、職業別は30歳代以下、学生が低く、若年層の意識が低いと考える。

指標の推移	対基準値 → 悪化	対前年度 → 悪化

指標	0032	市民一人当たりのごみの総量
方向性	→	



対基準値:142g減／基準値からの推移:○
10年後めざそう値達成率:149%
要因:9割近い市民がごみ減量、リサイクルに心がけごみ削減に努めていることのほか、物価高やリユース市場の拡大が要因と考える。

指標の推移	対基準値 → 改善	対前年度 → 改善

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、順調と評価する。
「ごみ減量、リサイクルを心がけている人の割合」は、対基準値で1.6ポイント減少しているが、90%近くで推移しており、その結果として「市民一人当たりのごみの総量」は10年後めざそう値を達成している。資源ごみでは新聞の購読数の減少やテイクアウト需要の低下によるプラ容器の減少が、家庭系ごみでは家庭でのごみ減量の取組が要因と考える。
今後も「東海なび」の「ごみの出し方」や「分別辞典」、ホームページの「ごみ分別検索」の活用や定期的な情報発信によりごみの分別を促すとともに、見やすく理解しやすい広報活動を実施していく。

成果動向	●順調	○横ばい	○順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

	単位施策の名称	成果動向			成果指標の名称	対基準値	対前年度
01	3R活動を推進する	順調		2111	市民一人当たりの家庭系ごみの排出量	改善	改善
				2112	この１年間でフリーマーケットに行ったことのある人の割合	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上	(1)	2113	この１年間で中古品の売買に関するアプリ等を利用したことのある人の割合	改善	改善
		維持 横ばい	(7)	2114	市民一人当たりの資源回収量	悪化	悪化
		低下	(1)				
02	ごみを適切に処分する	順調		2121	ごみ焼却施設の設計処理能力に対する処理量の割合	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(12)				
		低下	(0)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	01	3R活動を推進する

体系

章	環境 ･市民生活	理念	快適
施策	21	ごみの減量化とリサイクルを推進する	
単位施策主管課	清掃センター		

成果指標

指標番号	2111	市民一人当たりの家庭系ごみの排出量				指標番号	2112	この 1年間でフリーマーケットに行ったことのある人の割合			
方向性	↗					方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
g/人 ･日		552	520	509	460	%		12.7	9.3	10.5	12.8
指標の推移		対基準値 → 改善		対前年度 → 改善		指標の推移		対基準値 → 改善		対前年度 → 改善	
指標番号	2113	この 1年間で中古品の売買に関するアプリ等を利用したことのある人の割合				指標番号	2114	市民一人当たりの資源回収量			
方向性	↗					方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
%		20.1	22.4	24.3	27.7	g/人 ･日		203	163	154	148
指標の推移		対基準値 → 改善		対前年度 → 改善		指標の推移		対基準値 → 悪化		対前年度 → 悪化	

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	9	遅延あり	0	
成果状況	向上	1	維持 ･横ばい	7	低下	1	
次年度に向けての課題	あり 重大)	0	あり	0	なし	9	
次年度方向性	維持	9	見直し	0	休廃止	0	完了 0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
成果指標は、基準値から4指標のうち3指標が改善している。「市民一人当たりの家庭系ごみの排出量」は、基準値から92g向上しており、物価高やリユース市場の拡大の影響と考える。また、「この１年間で中古品の売買に関するアプリ等を利用したことのある人の割合」は、基準値から7.6ポイント向上しており、継続して実施している3Rの啓発活動による効果と考える。
今後も引き続き、広報紙や生活情報アプリ「東海なび」等を活用し、ごみ減量と資源化の普及啓発活動を推進していく。

成果動向	●順調	○横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	772	EM処理剤配布事業	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
2	775	3R活動啓発事業	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
3	780	資源集団回収事業	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
4	781	資源分別収集事業	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
5	783	プラスチック製容器包装中間処理事業	清掃センター	予定通り	低下	なし	維持
6	784	資源再商品化事業	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
7	785	ごみ集積場所資源回収事業	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
8	787	ごみ指定袋制度推進事業	清掃センター	予定通り	向上	なし	維持
9	2222	3R活動講座等運営事業	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	02	ごみを適切に処分する

体系

章	環境 ･市民生活	理念	快適
施策	21 ごみの減量化とリサイクルを推進する		
単位施策主管課	清掃センター		

成果指標

指標番号	2121	ごみ焼却施設の設計処理能力に対する処理量の割合				指標番号					
方向性	↗					方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
%		98.1	98.5	98.6	99.1						
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善				指標の推移					
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	12	遅延あり	0		
成果状況	向上	0	維持 ･横ばい	12	低下	0		
次年度に向けての課題	あり 重大)	0	あり	0	なし	12		
次年度方向性	維持	12	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
成果指標は、基準値から1.0ポイント向上しており、毎年98%以上の高い割合を継続維持できている。これは、ごみ焼却施設は稼働して28年を迎え、設備は老朽化しているものの、日常点検等の実施と計画的な補修ができていることによるものと考える。
西知多クリーンセンターが稼働するまでの間、引き続き、日常点検等を継続して実施するとともに、点検を反映した補修計画を立案し、現在のごみ処理施設の安定稼働に取り組んでいく。

成果動向	●順調　○横ばい　○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	760	西知多医療厚生組合負担金（し尿処理事業特別会計）	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
2	761	一般廃棄物処理施設整備基金積立金	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
3	1365	西知多医療厚生組合負担金（ごみ処理事業特別会計）	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
4	3178	清掃センター管理棟整備事業	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
5	2549	有料粗大ごみ収集事業	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
6	2551	最終処分場維持補修事業	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
7	762	ごみ収集事業	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
8	764	使用済乾電池等処分事業	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
9	765	清掃工場管理運営経費	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
10	767	焼却残さ処分事業	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
11	770	ごみ処理施設維持補修事業	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
12	789	し尿処理事業	清掃センター	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

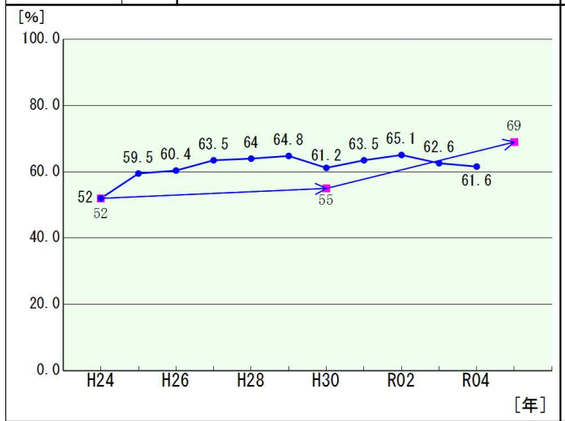
施策 22 市民と市が一体となって災害に備える

体系

章	環境・市民生活	理念	安心
めざすまちの姿	市、関係機関、地域、ＮＰＯなどが連携し、災害時に機能できるように備えている		
施策主管課	防災危機管理課		

まちづくり指標

指標	0033	地域、市などが連携し、災害時に備えていると思う人の割合	指標	
方向性	→		方向性	



対基準値:9.6ポイント増／基準値からの推移:○
10年後めざそう値達成率:56.5%
年齢別:差異無、職業別:差異無、地区別:差異有
要因:防災について関心が高まっていると想定。地区別では、浸水実績がある地区で関心が高い。

指標の推移	対基準値 → 改善　　対前年度 → 悪化	指標の推移	

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、横ばいと評価する。
まちづくり指標は、基準値から9.6ポイント向上しているが、近年の推移は横ばい傾向にある。これは、自主防災組織に対する補助事業や地域防災リーダー育成事業の進展や、人命救助や避難所運営に必要な資機材をいざという時に取り扱うための訓練など、地域と市が連携して防災活動に取り組めている一方で、十分に市民の実感に繋がっていないことが要因と考える。
今後は、地域での防災活動に対する支援・連携を強化するとともに、各家庭や地域での実践的な防災対策を行ってもらえるように、更新した防災ハンドブックをはじめ様々な情報発信を実施しながら、特に防災活動に優先的に時間を割くことができない人への啓発を進めていく。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

	単位施策の名称	成果動向			成果指標の名称	対基準値	対前年度
01	市民の防災力を向上させる	横ばい		2211	家庭で防災対策を行っている世帯の割合	改善	悪化
				2212	自主防災組織が活発に活動していると思う人の割合	改善	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(1)				
		維持 横ばい	(13)				
		低下	(0)				
02	防災体制を強化する	順調		2221	市からの防災情報の入手方法を知っている人の割合	改善	悪化
				2222	市の災害対策・防災体制が充実していると思う人の割合	改善	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(14)				
		低下	(0)				
03	地域と市の連携を強化する	順調		2231	地域と市が連携して防災対策を進めていると思う人の割合	改善	悪化
				2232	防災協定締結数	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(2)				
		低下	(0)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	01	市民の防災力を向上させる

体系

章	環境 ･市民生活	理念	安心
施策	22	市民と市が一体となって災害に備える	
単位施策主管課	防災危機管理課		

成果指標

指標番号	2211	家庭で防災対策を行っている世帯の割合				指標番号	2212	自主防災組織が活発に活動していると思う人の割合			
方向性	→					方向性	→				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
%		67.2	76.0	73.5	71.1	%		35.0	44.6	42.3	41.0
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 悪化				指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 悪化			
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	14	遅延あり	0		
成果状況	向上	1	維持 ･横ばい	13	低下	0		
次年度に向けての課題	あり 重大)	0	あり	4	なし	10		
次年度方向性	維持	14	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
「家庭で防災対策を行っている世帯の割合」は、基準値から3.9ポイント向上しているが、前年度から2.4ポイント低下している。また、「自主防災組織が活発に活動していると思う人の割合」は、基準値から6.0ポイント向上しているが、前年度から1.3ポイント低下している。地域に根差した「地域防災リーダー育成事業」等の取り組みが継続実施できている一方で、各家庭一人ひとりに防災意識が浸透していないことが要因と考える。
今後も地域の防災活動の格差に配慮しながら、地域防災力の向上を図るための訓練を推進していく。また、様々な情報発信媒体を活用し、市民一人ひとりへの啓発を進めていく。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	816	住宅耐震改修補助事業	建築住宅課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
2	818	住宅耐震診断事業	建築住宅課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
3	1323	耐震シェルター等整備補助事業	建築住宅課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
4	2313	住宅除却補助事業	建築住宅課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
5	2486	特定建築物耐震改修補助事業	建築住宅課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
6	2667	ブロック塀等撤去費補助事業	建築住宅課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
7	2694	防災ベッド貸出事業	建築住宅課	予定通り	向上	なし	維持
8	2726	災害医療活動支援者育成事業	健康推進課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
9	1403	家具転倒防止対策費補助事業	防災危機管理課	予定通り	維持 ･横ばい	あり	維持
10	41	防災対策啓発事業	防災危機管理課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
11	43	地域防災リーダー育成事業	防災危機管理課	予定通り	維持 ･横ばい	あり	維持
12	51	防災ラジオ頒布事業	防災危機管理課	予定通り	維持 ･横ばい	あり	維持
13	52	自主防災組織地震防災対策補助事業	防災危機管理課	予定通り	維持 ･横ばい	あり	維持
14	372	災害支援ボランティア訓練事業	社会福祉課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	02	防災体制を強化する

体系

章	環境・市民生活	理念	安心
施策	22	市民と市が一体となって災害に備える	
単位施策主管課	防災危機管理課		

成果指標

指標番号	2221	市からの防災情報の入手方法を知っている人の割合			
方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04
%		23.1	30.0	31.1	26.3
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 悪化			
指標番号					
方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移					

指標番号	2222	市の災害対策・防災体制が充実していると思う人の割合			
方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04
%		42.6	56.3	55.4	52.9
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 悪化			
指標番号					
方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	14	遅延あり	0
成果状況	向上	0	維持・横ばい	14	低下	0
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	4	なし	10
次年度方向性	維持	13	見直し	1	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
「市からの防災情報の入手方法を知っている人の割合」は、前年度から4.8ポイント低下しているものの、基準値から3.2ポイント向上しており、30～39歳及び40～49歳において順調に推移している。これは、メールマガジン等のインターネットやＳＮＳを活用した情報発信が中年層に浸透してきたことによるものと考える。また、「市の災害対策・防災体制が充実していると思う人の割合」は、前年度から2.5ポイント低下したものの、基準値から10.3ポイント向上しており、施設等の耐震化や避難所等の整備が充実してきたことによるものと考える。
今後も、ＳＮＳ等の活用割合の低い中高年層を中心に防災情報に関する啓発を図っていく。

成果動向	●順調　○横ばい　○順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	39	国民保護対策事業	防災危機管理課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
2	370	災害見舞金支給事業	社会福祉課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
3	2788	被災者生活再建支援金支給事業	社会福祉課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
4	2634	富木島大池耐震対策事業	農務課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
5	2635	中ノ池耐震対策事業	農務課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
6	2562	大田川流域地区浸水対策推進事業	土木課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
7	3253	中央防災倉庫維持補修事業	防災危機管理課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持
8	3266	千鳥津波避難所維持補修事業	防災危機管理課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持
9	1020	消防団員非常配備事業	消防本部	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
10	1953	災害時避難行動要支援者支援事業	社会福祉課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
11	2559	福祉避難所（妊産婦・乳幼児）整備事業	女性・子ども課	予定通り	維持・横ばい	あり	見直し
12	42	非常配備体制整備事業	防災危機管理課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
13	49	防災関連マップ作成事業	防災危機管理課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
14	53	避難所整備事業	防災危機管理課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	03	地域と市の連携を強化する

体系

章	環境 ･市民生活	理念	安心
施策	22	市民と市が一体となって災害に備える	
単位施策主管課	防災危機管理課		

成果指標

指標番号	2231	地域と市が連携して防災対策を進めていると思う人の割合			
方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04
%		43.8	55.1	54.1	51.9
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 悪化			

指標番号	2232	防災協定締結数			
方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04
件		46	123	127	131
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善			

指標番号					
方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移					

指標番号					
方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	3	遅延あり	0
成果状況	向上	0	維持 ･横ばい	2	低下	0
次年度に向けての課題	あり 重大）	0	あり	1	なし	2
次年度方向性	維持	3	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
「地域と市が連携して防災対策を進めていると思う人の割合」は、基準値から8.1ポイント向上している。その理由としては、市内に点在する避難所の防災用備蓄資機材を着実に整備してきたことによるものと考える。「防災協定締結数（令和元年度に消防関係など22件分を整理（整理後の基準値57件））」は、前年度から主に災害救助に必要な物資の調達に関する協定など4件増加しており、災害時に必要な支援の確保が着実にできていると考える。
今後も、地域防災訓練などの支援に努め、特に指標数値の低い地域において重点的に連携強化を図っていく。

成果動向	●順調	○横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	915	水防訓練実施事業	土木課	予定通り		なし	維持
2	1018	地域防災訓練事業	消防本部	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
3	48	市総合防災訓練事業	防災危機管理課	予定通り	維持 ･横ばい	あり	維持

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

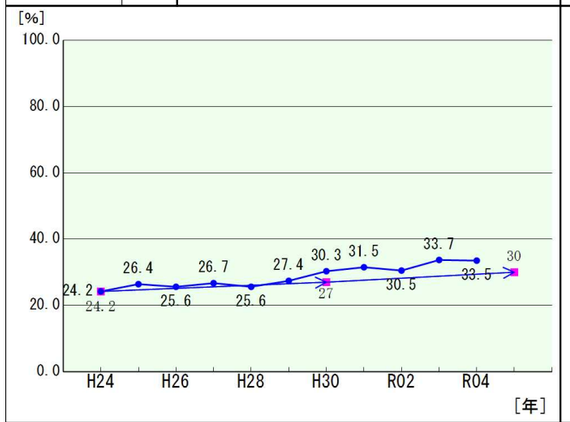
施策 23 交通事故や犯罪のない安全で安心なまちをつくる

体系

章	環境・市民生活	理念	安心
めざすまちの姿	関係機関と地域が連携し、交通事故や犯罪を防いでいる		
施策主管課	交通防犯課		

まちづくり指標

指標	0034	交通事故や犯罪の不安がなく、安全に安心して生活できていると思う人の割合	指標	
方向性	→		方向性	



対基準値:9.3ポイント増／基準値からの推移:○
10年後めざそう値達成率:160.3%
年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有
要因:交通、防犯環境は生活に密着した身近な関心事となっており、特に高齢者の割合が高い。

指標の推移	対基準値 → 改善　　対前年度 → 悪化	指標の推移	

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、順調と評価する。
成果指標では、「人身事故発生件数」、「犯罪発生件数」が基準値と比べ大幅に改善している。交通安全対策では、交通取り締まりの強化、安全運転支援装置搭載車の普及、高齢運転者の免許返納促進などが効果を上げていると考える。防犯対策では、市内全域の防犯灯LED化や、防犯カメラの増設など、行政、警察、地域が一体となった犯罪抑止策の強化が、侵入盗等の大幅な減少という成果を上げていると考える。
近年、強盗被害・特殊詐欺など全国的に犯罪が凶悪化・多様化していることから、被害防止対策として防犯用具購入費に対して補助金を交付するなど、市民の防犯意識を高めていく。

成果動向	●順調	○横ばい	○順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

	単位施策の名称	成果動向			成果指標の名称	対基準値	対前年度
01	交通安全対策を充実させる	順調		2311	市内における人身事故発生件数	改善	悪化
				2312	交通事故に対する不安がなく、安全に生活できていると思う人の割合	改善	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(7)				
		低下	(0)				
02	防犯対策を充実させる	順調		2321	市内における犯罪発生件数	改善	改善
				2322	犯罪に対する不安がなく、安心して生活できていると思う人の割合	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上	(2)				
		維持 横ばい	(3)				
		低下	(0)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	01	交通安全対策を充実させる

体系

章	環境 ･市民生活	理念	安心
施策	23	交通事故や犯罪のない安全で安心なまちをつくる	
単位施策主管課	交通防犯課		

成果指標

指標番号	2311	市内における人身事故発生件数				指標番号	2312	交通事故に対する不安がなく、安全に生活できていると思う人の割合			
方向性	↘					方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
件/年		599	351	255	256	%		32.0	35.6	38.6	38.0
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 悪化				指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 悪化			
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	7	遅延あり	0	
成果状況	向上	0	維持 ･横ばい	7	低下	0	
次年度に向けての課題	あり 重大)	0	あり	0	なし	7	
次年度方向性	維持	7	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
「人身事故発生件数」は基準値と比べ大幅に改善されている。また「交通事故に対する不安がなく、安全に生活できていると思う人の割合」については基準値と比べ6.0ポイント向上している。近年、安全運転支援装置搭載車両の普及が進んでいること、また、生活道路等において路面標示や標識・看板などの設置が進んでいること、運転免許証自主返納制度が認知されてきたこと等が指標改善に寄与していると考える。
今後は、高齢運転者による交通事故の低減に向けた取組や、近年増加傾向にある自転車事故への対策として、自転車利用者の法令遵守の意識向上に取り組んでいく。

成果動向	●順調　○横ばい　○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	15	交通安全パトロール事業	交通防犯課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
2	16	交通安全教育事業	交通防犯課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
3	17	交通安全啓発事業	交通防犯課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
4	19	運転免許証自主返納支援事業	交通防犯課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
5	27	道路反射鏡等整備事業	交通防犯課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
6	2371	道路照明灯改修事業	交通防犯課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
7	2753	自転車乗車用ヘルメット購入費補助事業	交通防犯課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	02	防犯対策を充実させる

体系

章	環境 ･市民生活	理念	安心
施策	23	交通事故や犯罪のない安全で安心なまちをつくる	
単位施策主管課	交通防犯課		

成果指標

指標番号	2321	市内における犯罪発生件数				指標番号	2322	犯罪に対する不安がなく、安心して生活できていると思う人の割合			
方向性	↘					方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
件/年		1,278	574	490	440	%		38.1	46.3	49.0	50.2
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善				指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善			
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	5	遅延あり	0	
成果状況	向上	2	維持 ･横ばい	3	低下	0	
次年度に向けての課題	あり 重大)	0	あり	0	なし	5	
次年度方向性	維持	5	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
「犯罪発生件数」は基準値、前年度ともに大幅に改善され、「犯罪に対する不安がなく、安心して生活できていると思う人の割合」についても基準値と比べ12.1ポイント向上している。中でも、侵入盗や特殊詐欺、重点罪種以外の犯罪については、減少傾向が続いている。
自動車盗や侵入盗への被害防止対策として、警察によるパトロール強化に加え、市民各々が防犯対策に積極的に取り組むことが重要であるため、防犯用具購入費に対して補助金を交付し、地域の防犯力を高め、犯罪発生件数の更なる減少を図っていく。

成果動向	●順調	○横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	31	防犯パトロール事業	交通防犯課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
2	34	防犯対策啓発事業	交通防犯課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
3	37	青色防犯パトロール活動支援事業	交通防犯課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
4	1737	防犯カメラ設置事業	交通防犯課	予定通り	向上	なし	維持
5	3215	高齢者特殊詐欺等被害防止対策機器購入費補助事業	交通防犯課	予定通り	向上	なし	維持

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

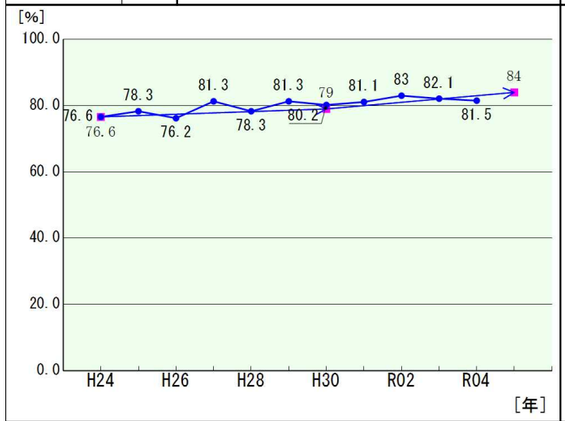
施策 24 消防・救急体制を充実させる

体系

章	環境・市民生活	理念	安心
めざすまちの姿	消防・救急体制が整っている		
施策主管課	消防本部		

まちづくり指標

指標	0035	消防・救急体制が整っていると思う人の割合	指標		
方向性	→		方向性		



対基準値:4.9ポイント増／基準値からの推移:○
10年後めざそう値達成率:66.2%
年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有
要因:65歳以上の住宅用火災警報器設置率が低い。
一方、共同購入事業を実施した地区が高い。

指標の推移	対基準値 → 改善　　対前年度 → 悪化	指標の推移	

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、横ばいと評価する。
まちづくり指標は、基準値から6.4ポイント改善している。成果指標のうち、3指標が基準値から改善していることから、市民の実感につながっていると考える。一方で、対基準値から悪化している1指標は、救急出動の増加に対応するため救急救命士を分散配置したことが要因と考える。
今後も引き続き、消防・救急体制を充実させるため、救急救命士養成計画に基づき救急救命士の確保に努めるとともに、高齢者の防火指導及び住宅用火災警報器設置率の向上に取り組んでいく必要がある。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

	単位施策の名称	成果動向			成果指標の名称	対基準値	対前年度
01	消防・防火体制を強化する	順調		2411	高齢者の防火指導件数	改善	改善
				2412	住宅用火災警報器の設置率	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上	(1)				
		維持・横ばい	(15)				
		低下	(0)				
02	救急・救命体制を強化する	横ばい		2421	救急隊出場１件当たりの救急救命士の人数	悪化	改善
				2422	心肺機能停止患者に対する市民の心肺蘇生法の実施率	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上	(1)				
		維持・横ばい	(2)				
		低下	(0)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持・横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持・横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持・横ばい					
		低下					

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	01	消防 ・防火体制を強化する

体系

章	環境 ・市民生活	理念	安心
施策	24	消防 ・救急体制を充実させる	
単位施策主管課	消防本部		

成果指標

指標番号	2411	高齢者の防火指導件数				指標番号	2412	住宅用火災警報器の設置率			
方向性	↗					方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
件		750	5,463	5,803	6,639	%		70.1	72.1	71.5	73.0
指標の推移		対基準値 → 改善		対前年度 → 改善		指標の推移		対基準値 → 改善		対前年度 → 改善	
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	15	遅延あり	1
成果状況	向上	1	維持 ・横ばい	15	低下	0
次年度に向けての課題	あり 重大)	0	あり	5	なし	11
次年度方向性	維持	11	見直し	3	休廃止	0	完了	1

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
「高齢者の防火指導件数」は、町別・小学校区毎に実施しており、新型コロナウイルス感染症の影響も薄れたことで、令和4年度は通常どおり実施し、コロナ禍以前の水準に回復した。
「住宅用火災警報器の設置率」は基準値から2.9ポイント向上した。
今後も、高齢者の防火指導とともに住宅用火災警報器設置率向上のため、コミュニティと連携し啓発活動を行うとともに、共同購入事業に加え取付け支援を継続していく。また、設置から経年した機器の更新や電池交換等の維持管理についても併せてＰＲを行っていく。

成果動向	●順調	○横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	980	消防 ・救助活動事業	消防本部	予定通り	維持 ・横ばい	なし	維持
2	981	水難救助活動事業	消防本部	予定通り	維持 ・横ばい	あり	見直し
3	985	知多広域消防通信指令事務協議会負担金	消防本部	予定通り	維持 ・横ばい	なし	維持
4	987	防火管理者講習会開催事業	消防本部	予定通り	維持 ・横ばい	なし	維持
5	988	危険物安全協会補助事業	消防本部	予定通り	維持 ・横ばい	なし	維持
6	989	保安連絡協議会補助事業	消防本部	予定通り	維持 ・横ばい	なし	維持
7	995	消防職員教育研修事業	消防本部	予定通り	維持 ・横ばい	なし	維持
8	996	火災予防啓発事業	消防本部	予定通り	維持 ・横ばい	あり	見直し
9	997	少年消防クラブ活動支援事業	消防本部	予定通り	維持 ・横ばい	あり	見直し
10	1002	緊急消防援助隊活動事業	消防本部	予定通り	維持 ・横ばい	なし	維持
11	1008	消火栓整備事業	消防本部	予定通り	維持 ・横ばい	あり	維持
12	1467	消防車両分解整備事業	消防本部	予定通り	維持 ・横ばい	なし	その他
13	1717	親子消防体験事業	消防本部	予定通り	維持 ・横ばい	なし	維持
14	2338	泡消火薬剤購入事業	消防本部	予定通り	維持 ・横ばい	なし	維持
15	1015	消防団操法大会等事業	消防本部	予定通り	向上	あり	維持
16	1466	消防団第 8分団詰所整備事業	消防本部	遅延あり	維持 ・横ばい	なし	完了

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	02	救急 ・救命体制を強化する

体系

章	環境 ・市民生活	理念	安心
施策	24	消防 ・救急体制を充実させる	
単位施策主管課	消防本部		

成果指標

指標番号	2421	救急隊出場 1件当たりの救急救命士の人数				指標番号	2422	心肺機能停止患者に対する市民の心肺蘇生法の実施率			
方向性	→					方向性	→				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
人/件		1.3	1.2	1.1	1.2	%		49.0	63.5	60.0	67.0
指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 改善				指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善			
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	3	遅延あり	0	
成果状況	向上	1	維持 ・横ばい	2	低下	0	
次年度に向けての課題	あり 重大)	0	あり	3	なし	0	
次年度方向性	維持	3	見直し	0	休廃止	0	完了 0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
「救急隊出場1件当たりの救急救命士の人数」は、救急救命士の総数は増員したが、救急隊を3隊から4隊に増加したため、「救急隊出場1件当たりの救急救命士の人数」が平準化し、基準値には0.1ポイント届かなかった。「心肺機能停止患者に対する市民の心肺蘇生法の実施率」は、基準値から18ポイント増加した。
今後も救急救命士の育成を計画的に進め、救急件数増加に対応するとともに、市民への心肺蘇生法の普及啓発を継続して推進していく。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	990	救急活動事業	消防本部	予定通り	維持 ・横ばい	あり	維持
2	991	救急救命士等育成事業	消防本部	予定通り	維持 ・横ばい	あり	維持
3	992	救命講習普及啓発事業	消防本部	予定通り	向上	あり	維持

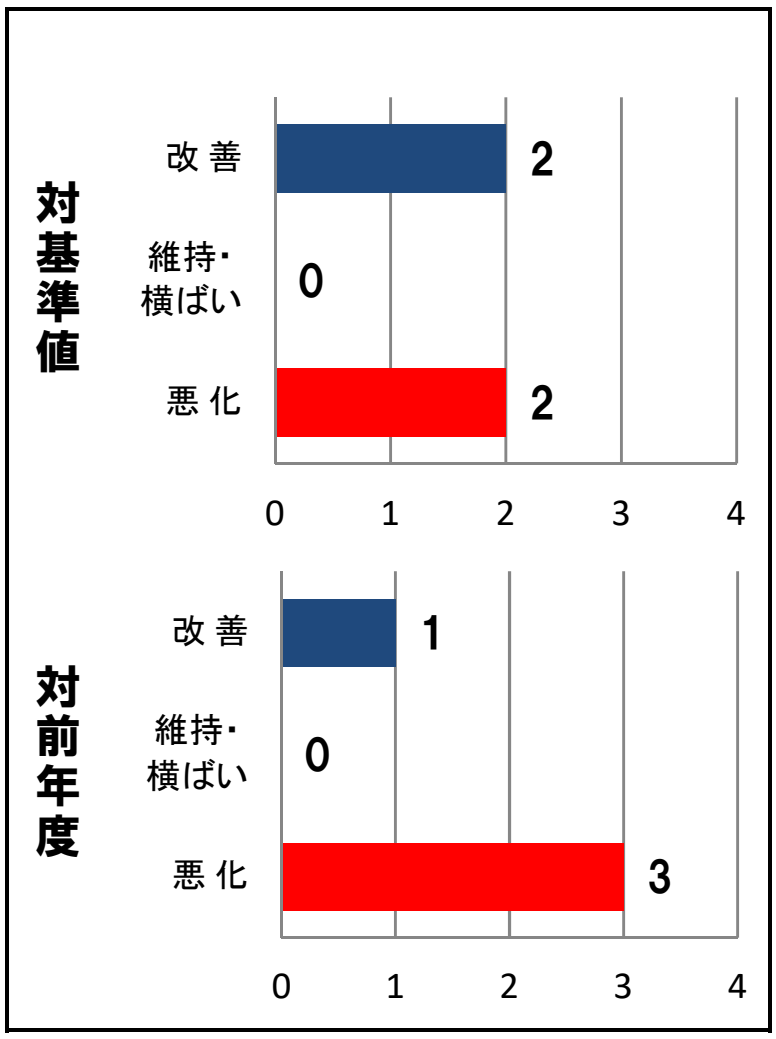
分野別成果動向一覧　第4章「産業・勤労」

≪施策別成果動向一覧≫

節	番号	施策名	成果動向	まちづくり指標の推移						成果指標の推移							
				対基準値			対前年度			対基準値				対前年度			
				改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可
農業	25	魅力のある農業を推進する	順調でない	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	1	0	1	0
商工業	26	商工業を活性化する	順調	1	0	0	1	0	0	2	0	4	0	3	0	3	0
勤労	27	市民の就業を支援する	順調	1	0	0	0	0	1	1	0	2	0	2	0	1	0
消費生活	28	安全な消費生活を支援する	順調でない	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	2	0

≪まちづくり評価委員会の評価≫

≪まちづくり指標の状況≫



［10年後めざそう値を達成した指標］

0037	魅力ある商店や企業が多いと感じている人の割合

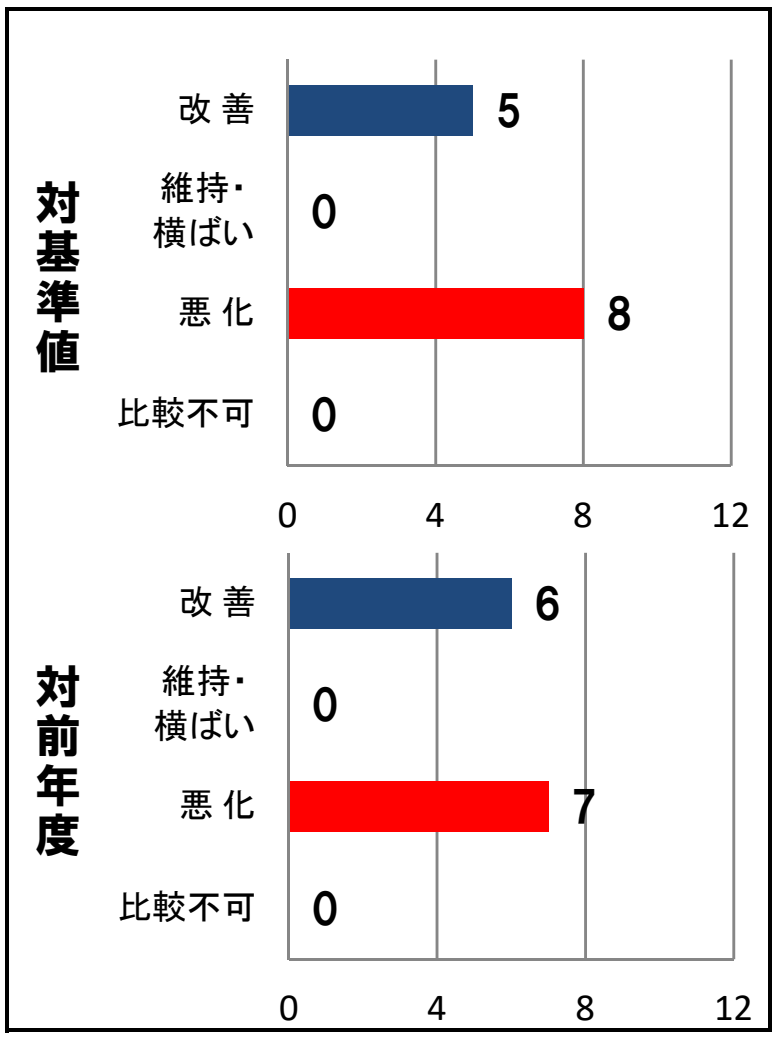
［基準値と比較して改善した主な指標］

0038	さまざまな立場の人が働きやすい環境が確保されていると思う人の割合

［基準値と比較して悪化した指標］

0036	市内の農産物に愛着を感じている人の割合
0039	商品などの安全性やリスクを理解して購入・利用している人の割合

≪成果指標の状況≫



［基準値と比較して改善した主な指標］

2621	主に市内の商店などで買い物やサービスを利用している人の割合
2631	小規模企業等振興資金信用保証料の補助件数
2811	市民向けに行う消費生活講座の参加者数
2821	消費生活相談件数

［基準値と比較して悪化した主な指標］

2521	地域特産物の出荷額
2641	観光地点等入込客数
2642	市内ホテル等の外国人宿泊者数
2711	職業紹介件数

≪第4章「産業・勤労」指標の状況≫

【まちづくり指標】「魅力ある商店や企業が多いと感じている人の割合」が10年後めざそう値（R5(2023)）を達成し、基準値と比較して分野全体で50.0%が改善した。
一方、基準値以下となった指標は「市内の農産物に愛着を感じている人の割合」はじめ2指標（50.0%）となった。
【成果指標】「主に市内の商店などで買い物やサービスを利用している人の割合」はじめ5指標、分野全体で38.5%が基準値より改善した。また、基準値以下となった指標は、8指標（61.5%）で、前年度より悪化した指標は、7指標（53.8%）となった。

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

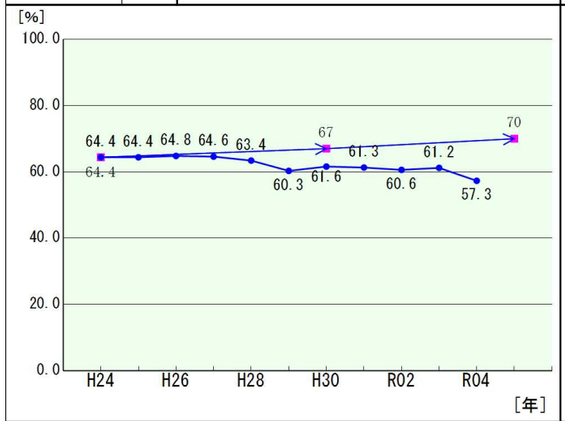
施策 25 魅力のある農業を推進する

体系

章	産業・勤労	理念	活力
めざすまちの姿	魅力ある農業となっている		
施策主管課	農務課		

まちづくり指標

指標	0036	市内の農産物に愛着を感じている人の割合	指標		
方向性	→		方向性		



対基準値:7.1ポイント減／基準値からの推移:×
10年後めざそう値達成率:-126.8%
男女別:差異有、年齢別:差異有、職業別:差異有
要因:価格高騰で農産物と接する機会の多い主婦や高齢者に指標低下の影響が生じていると考える。

指標の推移	対基準値 → 悪化　　対前年度 → 悪化	指標の推移	

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、順調でないと評価する。
まちづくり指標は、基準値から7.1ポイント低下している。これは、昨今の様々な分野での物価高騰の影響により、特に市内の農産物に接する機会の多い主婦や高齢者において、市内の農産物への購入意識に変化があったものと考える。
物価高騰の影響は、今後もしばらく続くものと考えられるが、ブランド化や優良品種の育成等による生産性の向上のほか、市内の農産物にふれる機会やイベントでのＰＲを強化し、市内の農産物の魅力向上を図っていく。

成果動向	○順調　○横ばい　●順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

	単位施策の名称	成果動向		成果指標の名称		対基準値	対前年度
01	農地の有効利用を進める	横ばい		2511	農地の有効利用率	悪化	改善
	事務事業の成果状況	向上	(1)				
		維持 横ばい	(11)				
		低下	(0)				
02	農業経営を支援する	横ばい		2521	地域特産物の出荷額	悪化	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(34)				
		低下	(1)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	01	農地の有効利用を進める

体系

章	産業 勤労	理念	活力
施策	25 魅力のある農業を推進する		
単位施策主管課	農務課		

成果指標

指標番号	2511	農地の有効利用率				指標番号					
方向性	↗					方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
%		98.5	95.5	94.7	95.3						
指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 改善				指標の推移					
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	12	遅延あり	0	
成果状況	向上	1	維持 ･横ばい	11	低下	0	
次年度に向けての課題	あり 重大)	0	あり	2	なし	10	
次年度方向性	維持	11	見直し	0	休廃止	0	完了	1

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
成果指標は、基準値から3.2ポイント低下し、前年度から0.6ポイント増加している。これは、遊休農地が農地として有効利用されたことのほか、大規模な開発が進展したことにより、耕作していなかった農地が転用され、他の用途に利用されたことによるものと考える。また、基準値からの悪化については、農業者の高齢化及び担い手の減少により耕地面積が減少し、遊休農地が約3倍増加したことが要因と考える。
今後は、10年先の農地の利用方法を具体化される地域計画を策定することとなるため、農業委員会と連携しながら、農地の有効利用の向上に取り組んでいく。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	1258	農業委員等研修事業	農業委員会事務局	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
2	1922	農地集積協力金交付事業	農務課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
3	612	用水機維持管理補助事業	農務課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
4	633	農道廃棄物処理事業	農務課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
5	636	多面的機能支払交付金事業	農務課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
6	643	知多土地改良区土地改良補助事業	農務課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
7	644	天宝新田排水機場整備事業	農務課	予定通り	維持 ･横ばい	あり	維持
8	2314	川北新田排水機場整備事業	農務課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
9	2378	木田北部地区ほ場整備費補助事業	農務課	予定通り	向上	あり	維持
10	3217	天宝新田用水機場整備事業	農務課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持
11	3227	浜新田用水機場整備費補助事業	農務課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	完了
12	3228	クラインガルテンみかん園改修事業	農務課	予定通り	維持 ･横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	02	農業経営を支援する

体系

章	産業 勤労	理念	活力
施策	25 魅力のある農業を推進する		
単位施策主管課	農務課		

成果指標

指標番号	2521	地域特産物の出荷額				指標番号					
方向性	↗					方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
億円/年		12.6	7.9	8.5	8.4						
指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 悪化				指標の推移					
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	35	遅延あり	0
成果状況	向上	0	維持 横ばい	34	低下	1
次年度に向けての課題	あり 重大)	0	あり	0	なし	35
次年度方向性	維持	31	見直し	1	休廃止	0	完了	2

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
成果指標は、基準値から4.2億円、前年度から0.1億円減少しているものの、洋ランはコロナ禍以前まで出荷額が回復し、タマネギは北海道産の不作による価格高騰の影響により出荷額が増加した。一方で、フキは生産量及び出荷額ともに減少しており、担い手の減少によるものと考える。
今後も引き続き、関係機関と連携し、担い手の確保に取り組むとともに、産地強化やブランド化、園芸施設導入等による採算性の改善、農業経営の体質強化の支援を図る必要がある。

成果動向	○順調　●横ばい　○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	603	育樹祭参加事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
2	606	減農薬推進補助事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
3	607	有害鳥獣駆除事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
4	611	水稲病害虫防除経費補助事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
5	615	農作物残留農薬検査費補助事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
6	618	あいちの伝統野菜玉ねぎ原種保存補助事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
7	619	経営所得安定対策推進事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
8	1608	農業次世代人材投資資金交付事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
9	2978	新型コロナウイルス感染症対策営農継続支援補助事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	見直し
10	3365	新規就農者経営発展支援事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	その他
11	3366	新規就農者経営開始資金支援事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
12	2882	かんきつ 夕焼け姫)苗木購入費補助事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
13	2670	らん魅力発信事業	農務課	予定通り	低下	なし	維持
14	620	果樹生産振興補助事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
15	621	園芸生産振興補助事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
16	622	有害鳥類防除補助事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
17	623	都市近郊農業施設設置費等補助事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
18	625	ふき優良種苗育成補助事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
19	626	施設園芸緊急対策交付金交付事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
20	627	花卉園芸普及推進補助事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
21	629	東海フラワーショウ開催補助事業	農務課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

単位施策	02	農業経営を支援する

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
22	630	鶏卵価格安定対策補助事業	農務課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
23	631	死亡牛緊急処理円滑化補助事業	農務課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
24	649	農業センター洋らん等栽培・調査研究事業	農務課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
25	652	4Hクラブ活動費補助事業	農務課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
26	653	農業後継者育成補助事業	農務課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
27	654	農業女性団体活動費補助事業	農務課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
28	657	家庭園芸講座開催事業	農務課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
29	658	親子農業体験教室開催事業	農務課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
30	660	農業フェスティバル開催補助事業	農務課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
31	2831	かんきつ（夕焼け姫）栽培・調査研究事業	農務課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
32	2866	農業センター施設野菜養液・炭酸ガス栽培・調査研究事業	農務課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
33	3029	農業センターリニューアル事業	農務課	予定通り	維持・横ばい	なし	完了
34	3031	農業センター試験栽培トマト活用事業	農務課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
35	3261	フキ原種保存用施設整備事業	農務課	予定通り	維持・横ばい	なし	完了

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月26日

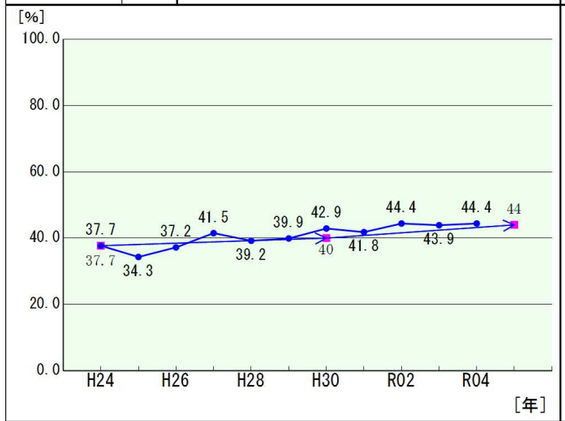
施策 26 商工業を活性化する

体系

章	産業・勤労	理念	活力
めざすまちの姿	新しい産業が創出されるなど、魅力ある商工業となっており、活性化している		
施策主管課	商工労政課		

まちづくり指標

指標	0037	魅力ある商店や企業が多いと感じている人の割合	指標	
方向性	↗		方向性	



対基準値:6.7ポイント増／基準値からの推移:○
10年後めざそう値達成率:106.3%
年齢別:差異無、職業別:差異有、地区別:差異有
要因:若い世代、特に学生が魅力的と感じる商店等が立地していると想定。

指標の推移	対基準値 → 改善　　対前年度 → 改善	指標の推移	

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、順調と評価する。
まちづくり指標は、年代別では16～19歳が63.3%（R3:42.6%）と大きく改善し、10年後めざそう値を達成した。新型コロナウイルス感染症による行動制限が続いてきたことで、近隣の店舗の利用が定着してきたなか、市民・小規模事業者応援商品券の発行などを通じて、より市内の店舗への利用が促進された結果であると考える。
今後も、経済活動の正常化に向けた動きが加速するなか、企業立地の促進や交流人口の拡大などによる市内での消費喚起、事業活動の継続に向けた支援など、幅広い視点での事業展開を推進していく。

成果動向	●順調	○横ばい	○順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

	単位施策の名称	成果動向			成果指標の名称	対基準値	対前年度
01	新たな産業の育成や創業を支援する	順調でない		2611	工業事業所数	悪化	悪化
				2612	工業事業所の製造品出荷額等	悪化	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(8)				
		低下	(0)				
02	活力ある商業店舗づくりを支援する	順調		2621	主に市内の商店などで買い物やサービスを利用している人の割合	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(6)				
		低下	(0)				
03	商工業者の経営を支援する	順調		2631	小規模企業等振興資金信用保証料の補助件数	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上	(2)				
		維持 横ばい	(13)				
		低下	(0)				
04	観光資源を活用し、にぎわいを創出する	順調でない		2641	観光地点等入込客数	悪化	改善
				2642	市内ホテル等の外国人宿泊者数	悪化	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(2)				
		維持 横ばい	(21)				
		低下	(1)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	01	新たな産業の育成や創業を支援する

体系

章	産業 勤労	理念	活力
施策	26	商工業を活性化する	
単位施策主管課	商工労政課		

成果指標

指標番号	2611	工業事業所数				指標番号	2612	工業事業所の製造品出荷額等			
方向性	↗					方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
事業所		219	220	217	215	億円/年		14,544	14,920	14,407	13,264
指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 悪化				指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 悪化			
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	8	遅延あり	0	
成果状況	向上	0	維持 横ばい	8	低下	0	
次年度に向けての課題	あり 重大)	0	あり	0	なし	8	
次年度方向性	維持	8	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調でないと評価する。
「工業事業所数」「工業事業所の製造品出荷額等」は、いずれも基準値、前年度現状値よりも減少している。これは、世界的な半導体不足やロシアによるウクライナ侵攻を発端とした原油価格の高騰などによる生産コストの増加が起因していると推察する。
今後も地域経済の活性化のため、特産品発掘支援補助事業の継続をはじめ、企業立地の推進や新たな産業の育成、創業の支援を継続して行っていく必要がある。

成果動向	○順調	○横ばい	●順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	686	特産品発掘支援補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
2	687	地域振興開発補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
3	1816	企業立地交付金事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
4	2121	創業支援事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
5	2359	ホテル等誘致交付金交付事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
6	2646	ホテル改修費補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
7	2723	産業推進会議設置事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
8	2724	市内企業オリジナルカートPR事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	02	活力ある商業店舗づくりを支援する

体系

章	産業 勤労	理念	活力
施策	26	商工業を活性化する	
単位施策主管課	商工労政課		

成果指標

指標番号	2621	主に市内の商店などで買い物やサービスを利用している人の割合				指標番号					
方向性	↗					方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
%		83.5	86.1	86.3	87.7						
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善				指標の推移					
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	6	遅延あり	0	
成果状況	向上	0	維持 横ばい	6	低下	0	
次年度に向けての課題	あり 重大)	0	あり	0	なし	6	
次年度方向性	維持	6	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
成果指標が、基準値から4.2ポイント増加したのは、市民を対象とした市内小規模事業者応援商品券発行事業などを通じて、市内店舗の利用を促進したことが背景にあると考える。
今後も引き続き、商工会議所と連携し、キャッシュレス化の推進や市内での消費喚起、市内店舗の魅力発信などにつながる方策を実施しながら、活力ある商業店舗づくりを支援していく。

成果動向	●順調　○横ばい　○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	676	姉妹都市産業まつり参加事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
2	682	商業団体補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
3	685	東海市物産PR補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
4	691	産業まつり開催補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
5	2893	太田川駅前商業店舗連携イベント開催事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
6	3041	中心市街地回遊性向上事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	03	商工業者の経営を支援する

体系

章	産業 勤労	理念	活力
施策	26	商工業を活性化する	
単位施策主管課	商工労政課		

成果指標

指標番号	2631	小規模企業等振興資金信用保証料の補助件数				指標番号				
方向性	↗					方向性				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位	基準値	R02	R03	R04
件/年		137	101	139	244					
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善				指標の推移				
指標番号						指標番号				
方向性						方向性				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位	基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移				

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	15	遅延あり	0
成果状況	向上	2	維持 横ばい	13	低下	0
次年度に向けての課題	あり 重大)	0	あり	0	なし	15
次年度方向性	維持	11	見直し	0	休廃止	1	完了	3

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
成果指標が、基準値から107件、前年度から105件増加したのは、新型コロナウイルス感染症の影響により創設された、無保証料の融資制度が令和2年度に終了したことで、小規模企業等振興資金信用保証料の活用の増加傾向が続いていることが主な要因であり、資金調達に苦慮する事業者への経営支援を行ってきたことによるものと考える。
今後も既存の制度の利用の増加が想定されるなか、市独自の消費喚起策や事業者支援策など、幅広い視点で商工業者への支援について検討していく。

成果動向	●順調	○横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	680	街路灯整備補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
2	681	街路灯電灯料補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
3	683	経営改善補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
4	684	商工会議所組織強化補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
5	688	人材育成講座補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
6	692	商店街近代化奨励事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
7	693	信用保証料補助事業	商工労政課	予定通り	向上	なし	維持
8	694	小規模企業等振興資金融資事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
9	695	商工組合中央金庫預託事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
10	2203	中小企業 小規模事業者雇用促進支援補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
11	2752	首都圏人材確保支援交付金交付事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
12	2935	ふるさと応援事業者支援事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	休廃止
13	3105	市内小規模事業者キャッシュレス決済ポイント還元事業	商工労政課	予定通り	向上	なし	完了
14	3305	市民 市内小規模事業者応援商品券発行事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	完了
15	3230	商工センターＷｉ－Ｆ環境整備事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	完了

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	04	観光資源を活用し、にぎわいを創出する

体系

章	産業 勤労	理念	活力
施策	26 商工業を活性化する		
単位施策主管課	商工労政課		

成果指標

指標番号	2641	観光地点等入込客数				指標番号	2642	市内ホテル等の外国人宿泊者数			
方向性	↗					方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
人/年		427,665	79,012	116,720	280,133	人/年		15,080	3,192	5,176	3,334
指標の推移		対基準値 → 悪化		対前年度 → 改善		指標の推移		対基準値 → 悪化		対前年度 → 悪化	
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	23	遅延あり	1
成果状況	向上	2	維持 横ばい	21	低下	1
次年度に向けての課題	あり 重大)	0	あり	4	なし	20
次年度方向性	維持	21	見直し	0	休廃止	0	完了	3

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調でないと評価する。
「観光地点等入込客数」は、基準値から147,532人減少し、「市内ホテル等の外国人宿泊者数」は、基準値から11,746人減少している。その理由としては、新型コロナウイルス感染症の影響により東海まつり花火大会が中止になったこと、また外国との往来が規制されていたことにより、外国人の入国が難しい状況であったことが要因と考える。
今後は、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント規制の撤廃や国内外の往来の正常化等に伴う観光客の増加が見込まれるなか、イベントの魅力向上や既存の観光資源の磨き上げ等により、にぎわいの創出を図っていく必要がある。

成果動向	○順調	○横ばい	●順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	2177	中心市街地活性化事務所Wｉｆｉ環境整備事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	完了
2	2377	沖縄フェスティバル開催事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
3	2454	山車まつり観光ＰＲ補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
4	2455	観光情報発信拠点運営費補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
5	2719	ひかりの観光資源創出事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
6	2729	工場夜景観光促進事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	あり	維持
7	2738	観光客誘致促進補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
8	2751	太田川駅前マルシェ開催事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
9	2894	太田川駅前空間活用イベント開催事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
10	2896	観光ビジョン推進委員会設置事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
11	2904	周遊ガイドマップ作成補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	完了
12	3042	太田川駅前ロードパフォーマンスフェスティバル開催事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
13	705	観光協会運営費補助事業	商工労政課	予定通り	向上	なし	維持
14	706	桜まつり開催補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	あり	維持
15	707	花しょうぶまつり開催補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
16	709	もみじまつり開催補助事業	商工労政課	予定通り	向上	なし	維持
17	710	観光パンフレット作成補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
18	711	地域観光協賛補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
19	712	観光案内板設置補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
20	713	知多地域観光物産展補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
21	714	観光イルミネーション補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

単位施策	04	観光資源を活用し、にぎわいを創出する

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
22	716	東海まつり花火大会開催事業	商工労政課	遅延あり	低下	あり	維持
23	2014	観光客誘致促進事業	商工労政課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持
24	3244	観光物産プラザＷｉｔｈＦ環境整備事業	商工労政課	予定通り	維持・横ばい	なし	完了

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月26日

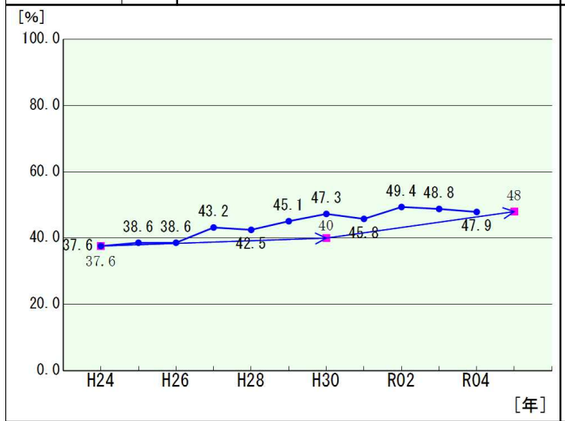
施策 27 市民の就業を支援する

体系

章	産業・勤労	理念	いきいき
めざすまちの姿	若い世代、女性、障害者、高齢者など就業の場が豊富である		
施策主管課	商工労政課		

まちづくり指標

指標	0038	さまざまな立場の人が働きやすい環境が確保されていると思う人の割合	指標	
方向性	↗		方向性	



対基準値:10.3ポイント増／基準値からの推移:○
10年後めざそう値達成率:99.0%
年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有
要因:学生など若い世代の労働環境やアルバイトなどの求人が好調と想定。

指標の推移	対基準値 → 改善　　対前年度 → 悪化	指標の推移	

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、順調と評価する。
まちづくり指標は、前年度からは減少したものの基準値から順調に推移している。世代別では、16歳から19歳が77.6%（R3:69.5%）となっており、新型コロナウイルス感染症の影響を受けてきたアルバイトなどの求人や労働環境が好転していることがその背景にあると考える。
今後は、労働者保護の観点から行われる制度改正の周知、関係団体との連携を通じて、更なる労働環境の整備を進めていく。

成果動向	●順調	○横ばい	○順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

	単位施策の名称	成果動向		成果指標の名称		対基準値	対前年度
01	雇用対策を充実させる	横ばい		2711	職業紹介件数	悪化	改善
				2712	市内事業所の従業者数	改善	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(0)				
		低下	(0)				
02	勤労者支援を充実させる	横ばい		2721	労働相談件数	悪化	改善
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(8)				
		低下	(0)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	01	雇用対策を充実させる

体系

章	産業 勤労	理念	いきいき
施策	27 市民の就業を支援する		
単位施策主管課	商工労政課		

成果指標

指標番号	2711	職業紹介件数				指標番号	2712	市内事業所の従業者数			
方向性	↗					方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
件/年		3,038	1,171	1,186	1,266	人		15,826	17,394	17,327	17,298
指標の推移		対基準値 → 悪化		対前年度 → 改善		指標の推移		対基準値 → 改善		対前年度 → 悪化	
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	0	遅延あり	0	
成果状況	向上	0	維持 ･横ばい	0	低下	0	
次年度に向けての課題	あり 重大)	0	あり	0	なし	0	
次年度方向性	維持	0	見直し	0	休廃止	0	完了 0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
「職業紹介件数」は、前年度から80件増加しているものの、基準値よりも低い水準で推移している。従業者数は国の経済センサスの活動調査の結果を用いており、調査対象年度が令和3年度であることから、新型コロナウイルス感染症による指標への影響が懸念されたが堅調な推移となった。
物価高騰による雇用環境への影響の長期化が懸念されるなか、多様な就業へのニーズに対応できるよう関係機関と連携を図りながら、職業相談体制のより一層の充実を図っていく。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	02	勤労者支援を充実させる

体系

章	産業 勤労	理念	いきいき
施策	27 市民の就業を支援する		
単位施策主管課	商工労政課		

成果指標

指標番号	2721	労働相談件数				指標番号				
方向性	↗					方向性				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位	基準値	R02	R03	R04
件/年		118	102	105	107					
指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 改善				指標の推移				
指標番号						指標番号				
方向性						方向性				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位	基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移				

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	8	遅延あり	0	
成果状況	向上	0	維持 横ばい	8	低下	0	
次年度に向けての課題	あり 重大)	0	あり	0	なし	8	
次年度方向性	維持	8	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
成果指標は、基準値から11件減少している。新型コロナウイルス感染症の影響により就職先の紹介を目的とした職業相談室への来室者は増加しているが、労働に関するトラブルなどの労働相談件数は少ない傾向にある。
働き方や景気動向など、雇用・就業環境が変化するなか、勤労者の支援に繋がる事業などを通じて就業環境の改善を促進していく。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	663	愛知県労働者福祉協議会知多支部補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
2	664	県建設職業訓練協議会補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
3	665	労働相談員設置事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
4	667	中小企業退職金共済制度加入促進補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
5	668	勤労者福祉サービスセンター運営費補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
6	669	パートタイム労働者福祉対策補助事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
7	670	優良従業員顕彰式開催事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
8	674	住宅資金融資事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

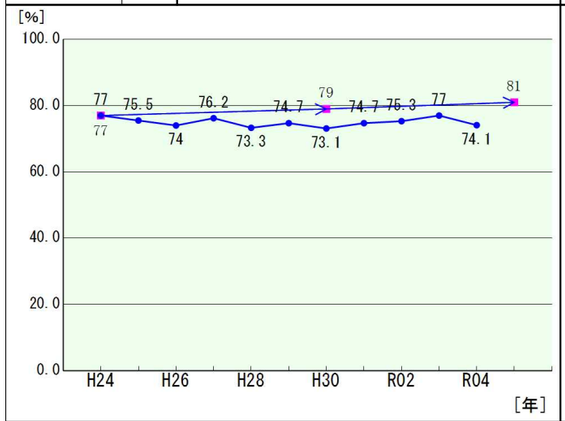
施策 28 安全な消費生活を支援する

体系

章	産業・勤労	理念	安心
めざすまちの姿	正しい知識や情報を得ることができ、消費者が安全な商品を選ぶことができる		
施策主管課	商工労政課		

まちづくり指標

指標	0039	商品などの安全性やリスクを理解して購入・利用している人の割合	指標		
方向性	→		方向性		



対基準値:2.9ポイント減／基準値からの推移:×
10年後めざそう値達成率:-72.5%
年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有
要因:若い世代の消費に対する関心が高まっている。

指標の推移	対基準値 → 悪化　　対前年度 → 悪化	指標の推移	

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、順調でないと評価する。
まちづくり指標は、基準値、前年度と比較して2.9ポイント低下した。世代別では16～19歳が67.3%と低くなっているのは、ネットショッピングへの関心は高いものの、リスク等への理解が深まっていないことが背景にあると考える。
今後は、成人年齢の引下げによる消費トラブルの増加や高齢者を狙った詐欺などが懸念されることから、若年層や高齢者を対象とした消費生活講座の開催や情報提供により、消費生活に対する関心を高める取り組みを進める必要がある。

成果動向	○順調	○横ばい	●順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

	単位施策の名称	成果動向			成果指標の名称	対基準値	対前年度
01	消費生活に関する情報提供を充実させ、意識の向上を図る	横ばい		2811	市民向けに行う消費生活講座の参加者数	改善	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(4)				
		低下	(0)				
02	消費生活に関する相談体制を充実させる	横ばい		2821	消費生活相談件数	改善	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(1)				
		低下	(0)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	01	消費生活に関する情報提供を充実させ、意識の向上を図る

体系

章	産業 勤労	理念	安心
施策	28 安全な消費生活を支援する		
単位施策主管課	商工労政課		

成果指標

指標番号	2811	市民向けに行う消費生活講座の参加者数				指標番号					
方向性	↗					方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
人/年		180	0	595	395						
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 悪化				指標の推移					
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	4	遅延あり	0	
成果状況	向上	0	維持 横ばい	4	低下	0	
次年度に向けての課題	あり 重大)	0	あり	0	なし	4	
次年度方向性	維持	4	見直し	0	休廃止	0	完了 0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
成果指標が基準値から215人増加したのは、近年、高齢者からのインターネット通販に関する相談が増加傾向にあることから、令和3年度に引き続き、高齢者大学での講座を開催し、インターネット詐欺等の被害防止のリーフレットを配布するなど、安全な消費生活の啓発活動を実施したためである。
今後は、高齢化の進展や成人年齢の引き下げに伴い、消費者トラブルの増加も懸念されるため、学校や事業所、団体等と連携して啓発活動を行っていく。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	725	食品衛生活動補助事業	生活環境課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
2	721	商品量目検査事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
3	722	消費者広場開催事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
4	723	消費生活講座開催事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	02	消費生活に関する相談体制を充実させる

体系

章	産業 勤労	理念	安心
施策	28	安全な消費生活を支援する	
単位施策主管課	商工労政課		

成果指標

指標番号	2821	消費生活相談件数				指標番号					
方向性	↗					方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
件/年		123	290	246	240						
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 悪化				指標の推移					
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	1	遅延あり	0	
成果状況	向上	0	維持 横ばい	1	低下	0	
次年度に向けての課題	あり 重大)	0	あり	0	なし	1	
次年度方向性	維持	1	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
「消費生活相談件数」は、デジタル化の進展により消費者のライフスタイルが変化するなか、インターネットを通じた買い物がきっかけとなったトラブルに関する相談が増加しており、基準値よりも高い水準で推移している。
成人年齢の引下げや高齢化の進展など、今後も多様化が懸念される消費者トラブルに適切に対応できるよう、消費生活相談員の研修や意見交換会を実施して相談スキルの向上を図るとともに、消費生活に関する啓発活動や消費生活センターのＰＲに努めていく。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表 通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	2416	消費生活センター運営事業	商工労政課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持